

復興を歩む

vol.26

教育プログラムの充実と
学校等再開整備事業の推進

村は、民間学習塾「花まる学習会」(本部・埼玉県さいたま市)の協力を得て、小学校と中学校で、思考力を高める特別授業を行っています。「花まる学習会」は、将来メシが食える魅力的な大人を育てる学習塾として、その指導法が注目を集めています。

この4月からは、「花まる学習会」の社員で、進学校で数学を教えた経験も持つ会田完三先生が、飯館中学校に常駐しています。小学校では、計算や音読を通して集中力や積極性を養う「花まるタイム」を、中学校では、思考力を高める数学の授業をスタートしていて、この夏からは、中学校で「放課後塾」も始まります。

村では、こうした学力向上への取り組みを行う一方で、「木育」「読育」「食育」「笑育」「花育」などの教育法を、幼少期から幅広く取り入れ、人間性を豊かに育む「心の教育」にも力を入れていきます。

また、「飯館村学校等再開整備事業」「飯館村スポーツ公園整備事業」で、学校等の村内再開に向けた、ハード面の整備も進めています。

学校等再開整備事業は、飯館中学校の敷地内に、幼稚園・保育所の機能を併せ持つ「認定こども園」「一貫教育を行う小・中学校、さらには給食センター(食育プラザ)などを整備する事業です。増改築される校舎は、豊かな学びの場として、さまざまな工夫をこらした建物に生まれ変わります。また、認定こども園の園舎、屋内プール、小学生用体育館などは新たに建設します。校舎・園舎が囲む前庭には、ビオトープ(身近な生き物の生態系を観察できる環境モデル)も作られます。

もう一方の、スポーツ公園整備事業は、中学校に隣接する陸上競技場や野球場などスポーツ公園の設備を拡充して整備する事業。テニスコートを備えた屋内運動場を新設する他、芝生の広場や園内の通路なども整備し、公園としての機能も充実させます。

復興事業の二環として施設整備を行い、将来の活用の広がりまで見据えて教育環境をつくっていきます。

※施設や教育内容の詳細は改めてお知らせいたします



5月15日に飯館中学校で行われた数学の授業。この日の講師は、「花まる学習会」と提携する栄光学園(神奈川県)の井本陽久(はるひさ)先生(写真中央)です。生徒たちは、手がかりとなる図形や事象の規則性について友達と話し合い、課題に挑戦して思考力を磨きました。